

山田うん ソロダンス

DICTEE

ディクテ

| 振付 演出 出演 | 山田うん

| 原作テキスト | テレサ・ハッキョン・チャ「ディクテ」

2013 **3.16** | 土 | 17:00 | **17** | 日 | 17:00
sat | door open:16:30 | sun | door open:16:30

世田谷パブリックシアター

DICTEE

ディクテ

振付 演出 出演 | 山田うん | 原作テキスト | テレサ・ハッキョン・チャ「ディクテ」
 choreography direction and dance : Un Yamada text : Theresa Hak Kyung Cha

2013 **3.16** | 土 | **17:00** | **17** | 日 | **17:00** 世田谷パブリックシアター
 sat door open:16:30 sun door open:16:30 Setagaya Public Theatre

全席指定 一般 **3,500円** 当日 **4,000円** 学生 **3,000円** (小学生以上、前売のみ。劇場、Co.山田うんにて取扱い)
 All Seats Reserved in advance:3,500yen at door:4,000yen student:3,000yen ※当日要確認提示

劇場友の会 **3,200円** (前売のみ) せたがやアートカード **3,300円** (前売のみ)
 members of SePT Club:3,200yen (in advance only) members of Setagaya Arts Card:3,300yen (in advance only)

2日セット券 **5,500円** (2公演ご覧になる方のリピート割引。Co.山田うんにて取扱い)
 Both performances:5,500yen (Discount for both performances. Reservation at Co.Yamada Un.)

※アートカード割引および先行予約は、劇場チケットセンターまたはオンラインチケットにてお求め頂けます。(要事前登録)
 ※小学生未満でも席が必要な場合は学生料金にてお買い求めください。

チケット一般発売 | 2013年1月20日(日)

ご予約 |

- 劇場チケットセンター tel 03-5432-1515 (10:00-19:00)
- 劇場オンラインチケット (要事前登録・24時間受付)
 パソコン <http://setagaya-pt.jp/>
 携帯 <http://setagaya-pt.jp/m/>
- イープラス <http://eplus.jp/> (パソコン・携帯)
- Confetti (カンフェティ) <http://confetti-web.com>
 0120-240-540 *通話料無料 (受付時間 平日10:00~18:00)
- Co.山田うん office.coyamadaun@gmail.com

お問合せ | Information

- Co.山田うん Co.Yamada Un tel 090-2912-0436 office.coyamadaun@gmail.com
- 世田谷パブリックシアターチケットセンター Setagaya Public Theatre
 tel: 03-5432-1515 (10:00-19:00) <http://setagaya-pt.jp/>

車椅子スペースのご案内 (定員あり・要予約)
 料金:一般料金の10%割引(介添者1名まで無料)
 申込:劇場チケットセンター
 tel 03-5432-1515 (10:00~19:00)
 ※ご利用希望日の前日まで。

託児サービスのご案内 (定員あり・要予約)
 料金:2,000円 対象:生後6ヶ月以上9歳未満
 申込:劇場託児受付 tel 03-5432-1526
 ※ご利用希望日の3日前の正午まで。
 ※障がいのあるお子さまについてはご相談ください

原作 テレサ・ハッキョン・チャ「ディクテ」について

テレサ・ハッキョン・チャ(1951-1982)は韓国で生まれ、日本の満州侵略に遭った母を持ち、韓国軍政を逃れ少女時代にアメリカへ移住し、パリ留学を経てNYで暴漢に殺される。パフォーマンスやインスタレーション、映像作品、写真、詩など様々な表現手段で作品を制作した、アメリカにおけるアジア女性を代表する芸術家と言われている。
 「ディクテ」とは、直訳するとフランス語で書き取り練習のこと。母国語を奪われた女性が、使い慣れない言語を何度も練習して身体にいれていく、そしてどんなに練習しても決して母国語を超えられない苦しみが大きなテーマとなっている。
 原作テキストの言語は韓国語/英語/フランス語/漢字からなる多言語で構成され、文中には複数の歴史的な女性の名前が登場し、それに母の世代の記憶が重ねられる。自伝的要素と世界的な地平とが交錯する、今なお世界で読み継がれる実験的文学作品。 ※参考文献:「ディクテ-韓国系アメリカ人女性アーティストによる自伝的エクリチュール」(池内靖子訳、青土社、2003年)



山田うん ソロダンス「ディクテ」

上演時間: 約70分
 音楽: マタイ受難曲 (J.S.バッハ)
 リア王復活のテーマ (斎藤徹)
 兎が驚の顔になりそうなところで生き返る (Park Cho Wol)
 ふるさと
 2011. 8 京都芸術センターにて初演
 2012. 2 TPAM 国際舞台芸術ミーティング in 横浜
 10 福岡アジア美術館
 11 いわき芸術文化交流館アリオス
 2013. 3 世田谷パブリックシアター

照明:吉本有輝子(真昼) 音響:江澤千香子 舞台監督:原口佳子 (office モリブデン)
 衣装:池田木綿子 (Luna Luz) 宣伝美術:永野ヒロコ (ZAWAME) 制作:上原聡子

主催: Co.山田うん 提携: 公益財団法人せたがや文化財団 世田谷パブリックシアター

助成: 芸術文化振興基金 公益財団法人 全国税理士共栄会文化財団 公益財団法人セゾン文化財団

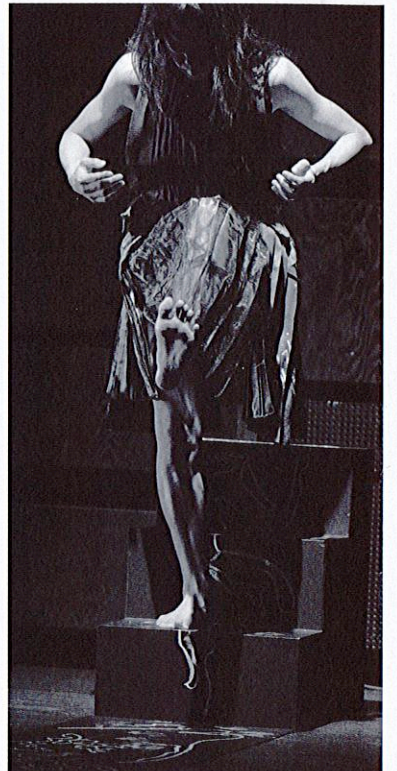


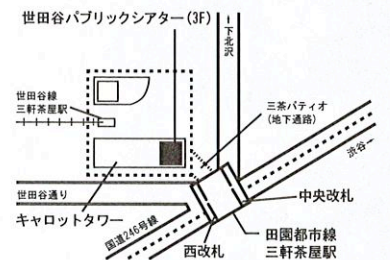
photo: Jouji Suzuki

肉体よりも裸で、骨よりも強く、腱よりもしなやかで、神経よりも鋭い言葉を書くことができそうですように

山田うん (振付家・ダンサー)

2000年横浜ダンスコレクション・ソロ×デュオコンペティションにおいて若手振付家のための在日フランス大使館賞を受賞し渡仏。2002年ダンスカンパニー<Co.山田うん>を設立。溢れる生命力とユーモアと機知に富んだダンスは、国内外から常に注目され、これまでに国内27都市、海外12カ国20都市で公演し話題を呼ぶ。また音楽、美術、学術、ファッションとのコラボレーション、演劇やオペラの動作振付、全国の学校や施設でのワークショップ等、数多くの分野で活躍し、注目を集めている。

<http://yamadaun.jp/>



世田谷パブリックシアター

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-1-1
 キャロットタワー 3F 03-5432-1526
 三軒茶屋駅 (東急田園都市線 渋谷より2駅・5分)・世田谷線 直結
 Setagaya Public Theatre
 4-1-1 Taishiodo, Setagaya-ku, Tokyo